翁紙宗

流意紀行

一

全

伊地知文庫
文庫20
417

筬愈紀行

宗祇

二色のむらさき六十九

伊地知氏蔵書印
霞山文庫

[illegible]

[illegible]

[illegible]

宮城の院を あ[illegible]
[illegible]
[illegible] 陶尾池 弘護院 [illegible] 孫七 [illegible]
[illegible]
[illegible] 一村 [illegible] 津の市 [illegible]
川 [illegible] 海 [illegible]
池 [illegible] 焼 [illegible]
[illegible]
[illegible] 門 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[

首塚は西寺にして
[illegible]
[illegible]
[illegible]

人々そこにあつまりて酒をすすめてうたをうたひ
れをどりつゝ潮風はけしきをもんでやすらへ
のうらかぜはやうやうとして沖中なる
海は満干潮をうやいつる二の潮とぞいふなる
かゝるほどの人々をうらいけむ苦行のまゝにいと
祈念をこらし給ふ事をもてよそをもて仲哀天皇
の皇后は豊浦宮にふうとうなり　南社を
雅楽文を皇子はれたまひ　また神を別殿にして
神主の拍子をうたひ　数ひとやとうたふやう
又てをふるまふ神使のふるまひ　那珂の郡
神楽　おのゝ給ふ社あり　幸わを九日の
居まれたまと　はじめ八月八日の新

れりしを初は海のそこにありしを人をあらはさむ
用ひ給ふ夕潮さゝむ　杜の海
明れば朝ふる神事ありて　神田のまはりに
うちうれ　神使をまつる社あり　社は
横川田廊　ひろく清きて　井堰よりこゝに杜の
文は海のこゝろをふるめ　清まるひく　志賀は宮
と志賀とあるもの　意味乃　清神は　神一
神功皇后　仲哀天皇　皇后　仁徳天皇
皇子　皇子　神事　廊　廊
一度あり　毎月八日乃杜の海　七日　菊花
南社　いにしへ　うら　清　清
住吉　明　敏　清　清　清　社中

神さびて海さき松のひまこゆるこゑ
神ぞ四廊下もとりて多いめん毎日とぶ
らう侍るべし

松風やたゆる神代の神の琴

この琴といふ詞ニ付よかゝふつさ詞書の神ハ
西の方一位君の神 次八情大菩薩ニ成大の神
神功皇后 新羅の神とこゝ石清水ハ和光垂ち
いつまでもかゝるハ侍ねとまこと仕君の神ハ
文武とをり給てり此ハ表裏とも一国家
と法ゐ人ハ此の内神の人を親をしまこの
そ光侍るかゝて黄金をやをしまこりよ
いる塩のゆきうひ者にゆゝよ

かゝるもこの廻門と陽てむうひ者の雪ゆり
ものひゝ十余町とこの四辺のやうハ海泥も
とゝのうゝろよ山ニ雪ゝ嶽ゝ嶽ゝ嶽ゝ
いさゝゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ
まて雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ
雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ
雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ
雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ
の雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ
門ニ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ
雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ
雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ
雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のりの宮とぞいふなる唯今はあれはてゝ
ゆくへもなき乃橋なれども舎あり毎日
あんぐうにて参詣する人絶間なし
聖日又門前に絵馬絵所の舎あり
こゝにて世々宮ゆ宮りるこの家
海辺を参るうるわしき春山の八幡まうつ若
の浦の橋とのゆりてこれを板の屋舎
海辺にゆきなりたふの客松山陰よ宿り
出社にやひやうふしてゆ常盤木たゝうの松ひ
ゆ宮を拝ゆうもるひくさ面むりもゆ姫の形
ゆ毛蓮華の形ゆえうふかりひぬつゝみ夜
ゆゝゆ神日を拝白とゆいるひうゝて

姉ゆゝ船のうゝる宮ゆ松
浦ゆゝめて下給ゆ絵所のりゆ姫形ゆと
浦ゆゝ下給ゆ絵所のりゆ姫形ゆと
浦ゆゝ下給ゆ絵所のりゆ姫形ゆと
安徳天皇の行宮乃跡とゆ姫ゆゝ柳ゆ浦ゆと
面の宮殿とゆ面ゆ同ゆのゆゝめ行れゆ毎の
うちゆて一所あり

能ゆゝぬ宮殿ゆも面の海路ゆ

姫ゆゝ能ゆ能ゆ能ゆ能ゆ若松乃浦ゆ訪ゆ
面ぬこの所ゆ知人麻生のなゆり年
わ能ゆゝぬゆゝこゝけて梅ゆゝ
浦ゆゝゆゝゆゝ海ゆ塩屋乃ゆゝ
面わゝゝ入日ゆゝ姫ゆゝゆゝ

この二人は相撲の事を[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

紀氏[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]社の延喜式内[illegible]
別宮[illegible]
[illegible]
[illegible]

白鳳寺中の軍劇なり 御法新言う云てり
うつさせてあり 山の新本なりとうつるも
新しきあらず 百余集なり 仏殿
法堂 僧房 回廊 みな仏殿なり 高さ
四丈ばかり 仏殿の内堂八今の廣さ
四間 奥ハ仏の御 また堂又 形成イ
炮烙 ばかり 法隆寺 乃ち法隆寺
三寺 南寺ハ南都東大寺 北寺ハ法隆寺 法
のあり 古さこそ
焼して 人なんや 新立元
なんの 名所 ふさつ
名ハ 法隆寺 なり

あくるまこと 四川 深川 ふと 宿坊
おもふ 日弘 相の 宿り 新参坊 とて
また 又一度 あり

深川ハ 河内 山城 京 郡
舎 まこと ひと 社 ね 社 やうて
立 れ 仏 ふ 名 の 仏 仏 仏 り
の 名 新 の 立 と せ ん と ま ひ と
山 ハ 立 く り き 四 の 仏 ハ 神 の う
寺 り 深 川 ま て ち ふ 天 稲 元 宮 社 宮
居 東 の 乃 殿 の 法 ま る と と む 墳 間 う 社 の
建 ら ま て 大 る 石 と 墓 の 松 と 墓 と 正 新 府
橋 乃 月 い ま し と お ふ 旧 の 新 高 寺 の 神

みちくうてとしてこの歌をとりふるしてもなを世俗の名聞をあさりてかの宮の宮なかりて宮をたてゆくまでもあまりなるわりゆくまでもあまりなるもいとかなしかりけり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

みちのくの名所旧跡をたずねんとて
神うきよ松すそ野むさしの
三やまをとをりて日ありて
ののち文法院その次第記すこと
たかすや神うの森月まちをも
なりていつるやとまもる事はまこと
おもしろしりの松の弘相寺彫
の名物のこりを
手向山紅葉やしの海
手向山二月の月いとりて
名のたてもいつくしき生の松のあ
ます所なりの院主のもてなし

仙台をみの日

仙台をみの日
社をみの松のえんとうの無住所
明れんせの日生の松をとうの同名をひて
立出ぬるよりとうちわたりうれと右よ
一村のうちより別当寺の山社法輪寺
そまりの浦としてとうの塩屋松原の所のうち
さしけるのうとして汀をおもしろき山なり
浦のとうの沒入の時ふしぎなる海のこと
形ち引沒わらてかつる波もいそしく見
うつくしくひろんふるこころかりて行
小山をこえやうて彼松原をいてるまこと
をてうる浦風のかつけてうる行て袖

[illegible]

[illegible]

[illegible]

神の事　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の松見ハて、[illegible]安宮の祠ゆ[illegible]
かゝて神の[illegible]ゆ[illegible]宮殿の大なる世よ
[illegible]ゆ[illegible]遠[illegible]て世[illegible]人[illegible]事[illegible]と
ハ[illegible]ゆ[illegible]て伊[illegible]宮殿のめ[illegible]う清ゆ[illegible]
大宋[illegible]ゆ[illegible]たゝ[illegible]て地[illegible]
此社の西方いなゐ井ゆ[illegible]
海の中[illegible]ふ[illegible]て[illegible]ゆ[illegible]
[illegible]海[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の松海[illegible]
いふ[illegible]て伊[illegible]
神[illegible]

[illegible]神宮寺[illegible]神宮の西[illegible]
御神の[illegible]ふ中ハ神切宮居[illegible]
宮居[illegible]
[illegible]の松の回[illegible]の時屋ケ作[illegible]
[illegible]の海ゆ生[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]の舎人

松の葉ふく松の世[illegible]物語の時[illegible]

松弘相と[illegible]くこの舎人[illegible]
同行のすゑ[illegible]弘相を[illegible]
[illegible]物語ふ[illegible]
[illegible]男れ[illegible]酒[illegible]
[illegible]れ[illegible]事[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

世人皆〻若響とおもふは此ところ[illegible]
[illegible]
[illegible]浦とこそいへ義経の浦
[illegible]
[illegible]
[illegible]

かくまでさうぞくしたるとの
湯津姫　市杵島姫
みなの尊の御神之見
尊のかむなをめでたく
こと祝ぎまして
人代の世にまして
さての業
天照大神の御
なる人一つ一つ
よきものをそなへ
おのづからふきたまふ
いつもこの尊と共に
事ども祈り申すとぞ
なほ物さうしてもとの
うつし海とふかれて
なるとりふれ雨まれ
ひりをあるつるも
ありしかひ出
とりの乃ひまの
大海のなく必ずいろ
今日も波風さかり
たけきまよりひとり
りもいるをとを
海の音声うち

流て大海の海月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のさやふけのかり　さをかなと　はてり　合せ
さそふあらしなりなる　月の　梅やさそふ　いるかり
ふ　ふるさとの　ふるさと　ふるさと
　　梅やうめ　屋の　秋て　ふる　月や　梅を
いとひそめ　ふる　秋　秋　秋　秋
海　月　梅　月　梅　海　梅
　　海　海　海　海　海　海
　　海　海　海　海　海　海
　　海　海　海　海　海　海

の神さのもとふ志ゝ　やうり屋うて雑家院
明歌律師の坊ゝ　はうりぬ日とゝの橋さ
ゝ　ゝそこの事なゝ　もろとゝふ拙かうりして
新ゝ今あり

　　　

[illegible]

[illegible]

[illegible]